

市 長 行 政 報 告

本日、9月市議会定例会を招集いたしましたところ、皆様方にはご多用の中ご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

7月から8月にかけては、例年にも増して厳しい暑さが続き、九州地方では記録的な豪雨に伴う甚大な被害が発生いたしました。亡くなられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様方に心からお見舞い申し上げます。

本市におきましては、災害・防災対応の拠点施設として、新消防庁舎や防災棟が完成し、迅速かつ機能的に業務を遂行できるよう体制を強化したところであります。

引き続き、市民の暮らしと安全を守るため、災害に強いまちづくりに努めてまいります。

さて、市内各地では、趣向を凝らした夏祭りや盆踊りが開催され、市民の皆様をはじめ、夏休みをふるさとで過ごす帰省客や観光客などでにぎわいました。

なかでも、8月9日に開催されました「新見ふるさとまつり」は、新見高等学校の生徒や関係団体などの熱い思いを受けて復活し、6年ぶりに新見駅前通りで開催されたところであり、私も大変うれしく思っております。

当日は、多くの方にご来場いただき、想像を超えるにぎわいとなりました。準備に携わってくださいました皆様、そしてご来場くださいました皆様に心から感謝申し上げます。

この盛り上がりをつなげ、さらに魅力あるふるさとになるよう取り組んでまいります。

それでは、前回市議会定例会以降の取組などについて、報告をさせていただきます。

まず、「産業・経済」についてであります。

林業振興につきましては、8月28日にアサヒグループジャパン株式会社と「森林保全管理協定」を締結いたしました。これは、グループ会社であるアサヒ飲料株式会社岡山工場が、本市をはじめとする水源の水を利用していることから、持続可能な水資源の確保を目的に、市有林を対象に管理活動が行われるものであります。

具体的には、人工林の間伐、作業道の補修・草刈りなどであり、森林の水源かん養機能の持続的な維持・向上につながるものと考えております。なお、協定期間は、令

和7年8月28日から令和10年3月31日までとなっております。

「新見市オリジナル I C O C A」につきましては、7月18日から8月17日までの1か月を対象期間に、キャッシュレス決済額の20%、最大2,000ポイントを還元するキャンペーンを実施いたしました。その結果、7,183人の方が参加され、約8千3百万円の電子マネーが利用されております。これに対する約1千3百万円分のポイントは、9月5日に付与することとしております。

引き続き、加盟店の増加を図るとともに、市内消費の喚起による経済の好循環に向けて取り組んでまいります。

観光振興につきましては、4月13日に開幕した「大阪・関西万博」に、8月22日から24日までの3日間出展し、千屋牛とキャビアの試食や神代和紙の紙すき体験、満奇洞VR体験、ステージでの観光PRなどを行いました。

観光PRでは、万博会場のステージに私自ら登壇し、本市ふるさと大使である石原^{いしはら}祐美子^{ゆみこ}氏の漫才コンビ「チキチキジョニー」とともに、本市が誇るA級食材などを世界に向けて発信いたしました。

また、地域おこし協力隊の酒造^{みきこうへい}耕平隊員は、7月22日から8月18日の期間、サウジアラビアパビリオンで、海外のアーティストとともに、本市で語り継がれてきた民謡を披露し、伝統文化のPRを行っております。

こうした取組を通じて、インバウンドを含めた更なる観光誘客に取り組んでまいります。

次に、「健康・福祉」についてであります。

地域共生社会の推進につきましては、本市の目指す「健康福祉のまちづくり」を実現するための体制づくりとして、8月26日に市役所防災棟会議室において「第1回新見市地域共生社会推進本部会議」を開催いたしました。

福祉、介護、医療などの関係者29名を本部員として委嘱し、本市の目指すべき方向性や推進本部における検討の進め方について協議を行いました。

今後も誰もが役割と生きがいを持ち、互いに支え合う関係が循環する地域共生社会「新見モデル」の構築に努めてまいります。

次に、戦没者追悼式につきましては、終戦から80年の節目の年を迎える中、先の大戦で犠牲となられた戦没者の追悼と平和の尊さを次の世代へ語り継いでいくため、8月23日に「令和7年度新見市戦没者追悼式」をまなび広場にいみ大ホールで開催

いたしました。

当日は、約 250 人が参列し哀悼の意を捧げました。

今後も、世界の恒久平和を強く願うとともに、本市の明るく豊かな社会の実現に向け邁進してまいります。

次に、「教育・文化・スポーツ」についてであります。

学童水泳記録会につきましては、7月29日、新見市民プールで開催され、市内全小学校15校から127名の児童が出場しました。真夏の日差しが降り注ぐ中、水しぶきを上げながら全力で泳ぐ児童や、その姿に声援を送る保護者に心を打たれました。

なお、本記録会は、熱中症対策を講じて毎年開催しておりましたが、昨今の猛暑による児童の体調など安全面を考慮し、本年度をもって幕を閉じることになりました。

これまで、大会の開催にご尽力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

次に、「安全・生活基盤」についてであります。

防災につきましては、令和6年度から整備を進めておりました新見市防災棟が、7月末に完成したことで8月7日に落成式を行い、運用を開始しております。

災害対応をしていく防災拠点が整備できたことにより、この施設を有効に活用し災害対応力の強化を図ることで、市民の安心安全を確保してまいります。

消防・救急につきましては、7月24日に新消防庁舎の落成式を行い、8月22日から運用を開始しております。なお、それに先立ち、7月26日の一般公開には、約700人が来場され、新しい消防・救急の拠点となる新庁舎への期待の大きさを感じることができました。

また、市街地北部からドクターヘリによる救急搬送を迅速に行うため、西方の新見工業団地の一角に整備を進めております専用のヘリポートであります。現在、造成測量設計・地質調査業務が完了したところであります。早期の完成を目指し、工事に着手してまいります。

市民の皆様の安心安全を守るため、新消防庁舎を拠点として、引き続き消防・救急体制の充実強化を図ってまいります。

次に、「都市基盤・交通」についてであります。

道路整備につきましては、7月下旬から8月上旬にかけて、備北新線、主要地方道新見勝山線・新見日南線などの各整備促進期成会の会長である私は、藤澤議長とともに、岡山県、国土交通省、県選出の衆参国會議員などを訪問し、要望活動を行いました。道路の現状や地域の発展に不可欠な幹線道路整備の必要性につ

いて、関係機関に地域の声を届けてまいりました。今後とも市民生活の利便性向上に向けて、これらの道路の早期整備を粘り強く働きかけてまいります。

芸備線再構築協議会につきましては、7月9日に第4回協議会が開催され、列車の増便などによる芸備線の可能性を最大限追求する実証事業など、本年度の事業実施について決定されたところであります。

7月19日から実施しております実証事業につきましては、哲西地域を循環する無料周遊バスなどの二次交通の運行やレンタサイクルの実施など、様々な鉄道利用促進事業などを組み合わせながら、地域、商工団体などと一体となって有益な取組となるよう進めてまいります。

次に、「環境」についてであります。

省エネルギーの推進につきましては、電気使用量の削減及び効率的なエネルギー使用を目的として、「和みの郷かなや」にエネルギー管理システム機器を7月に設置し、公共施設の脱炭素促進に努めております。今後も、2030年ゼロカーボンシティの実現に向け、様々な事業を進めてまいります。

また、自然環境保全に関する取組につきましては、7月から、市内の希少野生動植物の生息状況などの実態調査を開始し、データベース化することとしております。併せて、特定外来生物の繁殖を防止する保護活動や、生育環境保全活動の普及啓発を推進し、本市の豊かな自然環境を後世まで残してまいりたいと考えております。

次に、「交流・コミュニティ」についてであります。

地域運営組織につきましては、7月7日に哲西町畑木地域で新たな組織が設立され、現在25組織が活動しております。今後も地域運営組織の設立やその活動のための支援を行ってまいります。

次に、「広聴・広報」についてであります。

広聴・広報につきましては、6月27日に駅前通り町内会、7月10日には福本地域振興会の皆様と市政懇談会「おでかけ市長室」を開催いたしました。

新見駅周辺のまちづくりや担い手不足による農地の荒廃などについて、ご意見やご提言をいただき、有意義な懇談会となりました。

また、8月4日から8月19日にかけて、市内5会場で市政懇談会「市長とフリートーク」を開催いたしました。

会場ごとにテーマを設定して、公共交通、鳥獣被害対策、新見高校の存続などについて意見交換を行いました。

いただいたご意見やご提言を今後の施策の参考にしてまいりたいと考えておりま

す。

「にいみの魅力発信事業」につきましては、8月6日に「広報戦略会議」を設置し、ショート動画やSNSを活用した対外広報を戦略的に検討する体制を整えたところであります。

今後、広報戦略会議を中心に検討を重ね、県外在住者やインバウンド客に対し本市の認知度を向上させるべく、積極的に取り組んでまいります。

最後に、市制施行20周年記念事業についてであります。

市制施行20周年記念講演会につきましては、7月26日まなび広場にいみ大ホールにおいて、歴史学者の磯田道史氏いそだみちふみをお招きし、「新見で歴史を語る」と題して、講演会を開催いたしました。

当日は、市内外から約800人の来場があり、中世以来の新見の歴史や新見藩、山田方谷にまつわる貴重なお話を拝聴することができました。

また、8月5日には、同じくまなび広場にいみ大ホールにおいて、市民学習講座及び教育講演会として、元サッカー日本代表監督岡田武史氏おかだたけしを招いての講演会を開催いたしました。

当日は、教育関係者を含め、多くの来場者があり、スポーツ、教育そして地域づくりなど様々な活動から得られた貴重なお話を拝聴することができました。

今後も様々な記念事業を実施する予定としておりますので、引き続き市民の皆様と共に20周年を盛り上げてまいります。

以上、市政運営の状況につきまして主なものをご報告いたしましたが、引き続き市政の推進にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。